

高知県の地震

目 次

高知県の地震活動	
震央分布図及び断面図	1
地震概況	1
高知県で震度1以上を観測した地震と各地の震度	2
高知県で震度1以上を観測した地震の震度分布図	2
地震一口メモ	
津波情報の改善について	3

※「高知県の地震」は月1回発行するもので、高知県及びその周辺の地震活動状況をお知らせすると共に、適宜、社会的に関心の高い地震について解説します。また、「地震一口メモ」で地震防災知識等の普及に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。

※この資料の震源要素及び震度データは、再調査された後に修正されることがあります。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

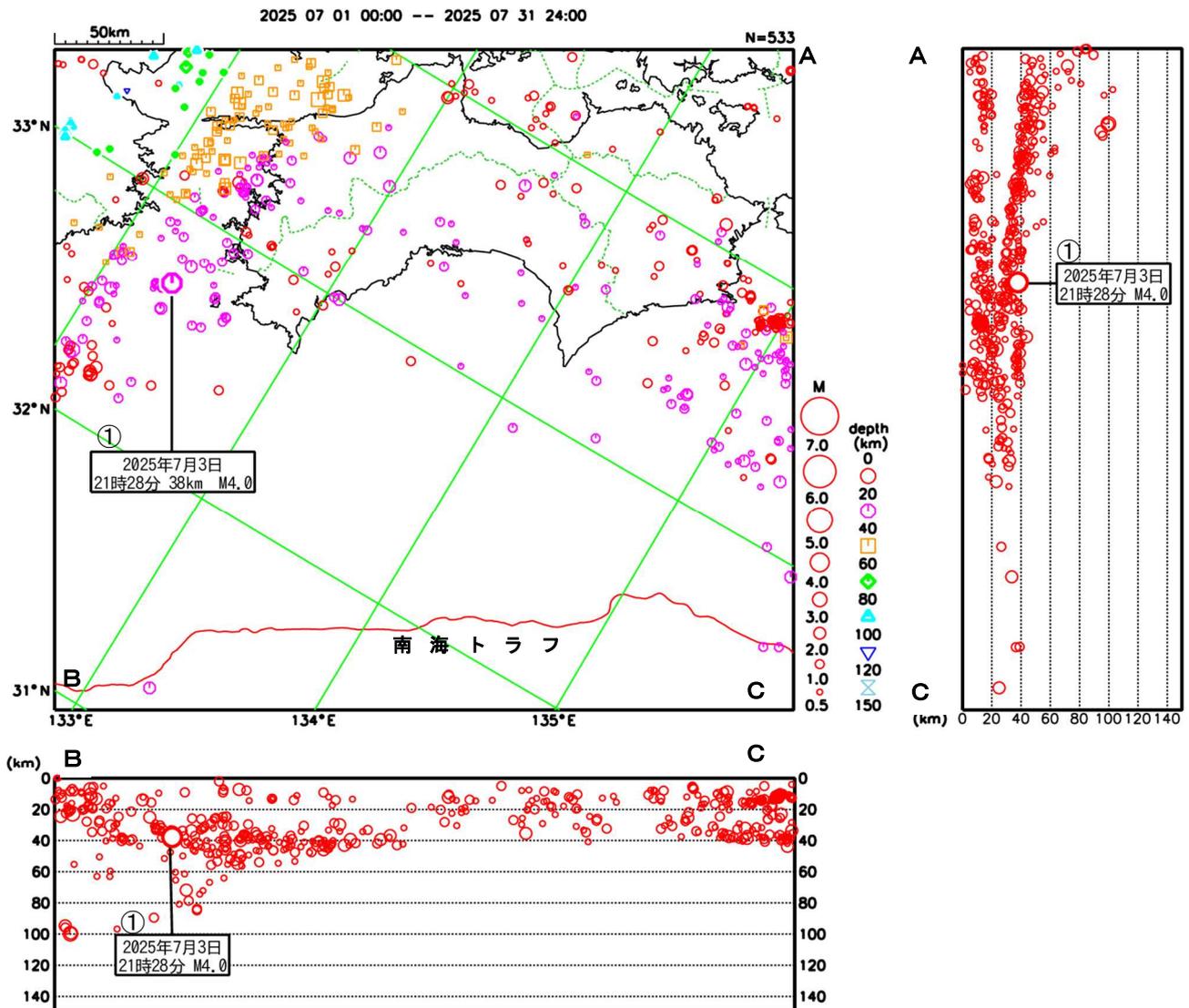
2025年(令和7年)7月

高 知 地 方 気 象 台

高知県の地震活動

「震央分布図及び断面図」

(2025年7月1日～7月31日)



震央分布図では、地震の規模を示すマグニチュード(M)はシンボルの大きさで表しています。震源の深さはシンボルの形と色を深さに応じて変えて表しています。右上の「N」は図中に表示しているシンボルの数(地震の回数)、右の「depth」は地震の深さの凡例を示しています。

断面図(右図及び下図)は、震央分布図範囲内の地震の北北西-南南東(A-C)方向断面図(右)と西南西-東北東(B-C)方向断面図(下)を表し、それぞれの地震の震源の垂直分布を表しています。

「地震概況」

2025年(令和7年)7月に、高知県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は2回でした(前月は2回)。

3日21時28分、日向灘の地震(深さ38km、M4.0、震央分布図①)により、宿毛市で震度2を観測しました。その他に、愛媛県、大分県で震度2を観測したほか、四国・九州地方で震度1を観測しました。

18日18時58分、大分県南部の地震(深さ100km、M3.7、震央分布図外②)により、宿毛市で震度1を観測しました。また、大分県で震度2を観測したほか、四国・九州地方で震度1を観測しました。

【その他、津波警報等の発表状況】

20日15時49分(日本時間)、カムチャツカ半島東方沖の地震(Mw7.5、MwはGlobal CMTによる)により、高知県のほか、太平洋沿岸に津波予報(若干の海面変動)を発表しました。

30日08時24分(日本時間)、カムチャツカ半島東方沖の地震(Mw8.8、Mwは気象庁による)により、北海道で震度2を観測したほか、北海道・東北・東海・甲信越・中国・九州地方にかけて震度1を観測しました。

この地震により、30日09時40分に高知県に津波注意報を發表しました。また、太平洋沿岸を中心に津波警報・津波注意報・津波予報（若干の海面変動）を發表しました。高知県内の以下の検潮所で津波を観測しました（値は速報値）。

土佐清水：0.6m 室戸市室戸岬：0.5m 中土佐町久礼港：0.4m 高知：0.2m
高知県に發表していた津波注意報は31日10時45分に解除しました。

注) 地震概況にある数字は、「震央分布図」、「地震の表」及び「震度分布図」の番号に対応しています。

「高知県で震度 1 以上を観測した地震と各地の震度」

2025 年 7 月

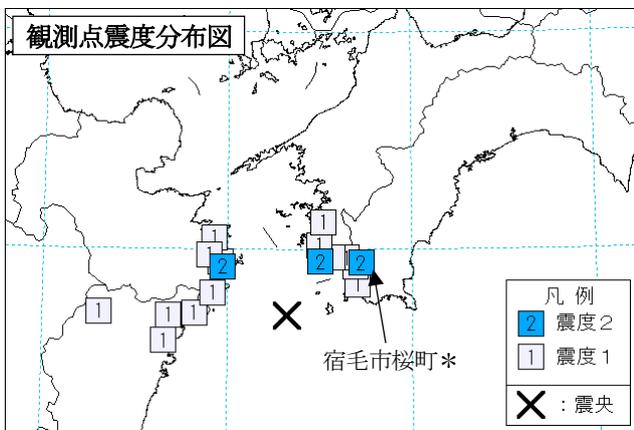
発震時刻（年月日時分） 各地の震度（高知県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
① 2025 年 07 月 03 日 21 時 28 分 高知県 震度 2：宿毛市桜町* 震度 1：宿毛市片島, 大月町弘見*	日向灘	33° 41.9' N	132° 19.5' E	38km	M4.0
② 2025 年 07 月 18 日 18 時 58 分 高知県 震度 1：宿毛市片島, 宿毛市桜町*	大分県南部	33° 02.3' N	131° 29.3' E	100km	M3.7

注) *印付き観測点は、気象庁以外（高知県または国立研究開発法人防災科学技術研究所）の震度観測点です。

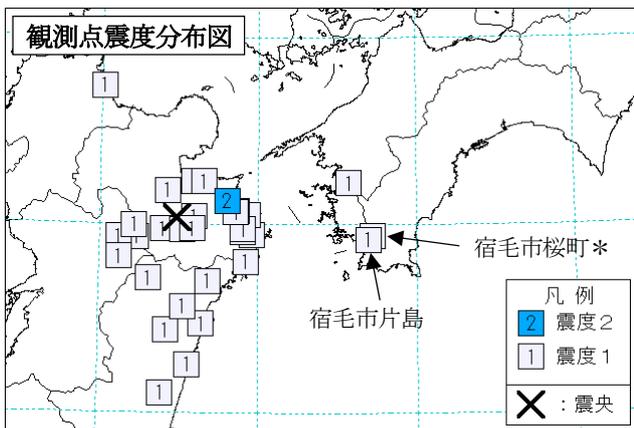
「高知県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図」

2025 年 7 月

① 2025 年 07 月 03 日 21 時 28 分 日向灘 深さ 38km M4.0



② 2025 年 07 月 18 日 18 時 58 分 大分県南部 深さ 100km M3.7



「地震一口メモ」

津波情報の改善について

2025年7月24日から、津波観測点の稼働状況を速やかにお知らせできるように、障害で観測できなくなっている観測点については、津波情報を発表する段階で「欠測」を明示してお知らせしています。

気象庁では、従来、地震等に起因する津波が襲来した際に、障害で津波を観測できなくなっている観測点があった場合には、地震発生後に公表する報道発表資料等でお知らせしていました。しかし、報道発表資料の公表に先行する、津波情報の発表時点では、障害となっている観測点があることをお知らせできておらず、以下のように情報の受け手側に津波を過小評価されてしまう可能性がありました。

もし、①「津波到達前から障害となっている観測点」があった場合には、当然ながら、その観測点では津波到達前後を含め、潮位の観測データが存在せず、津波到達前後の潮位の差分から津波の高さを算出することはできません。ところが、観測点の障害情報が与えられなければ、津波情報の受け手側は、正常に観測できている前提で津波情報をご覧になります。そうすると、従来の津波情報では、障害観測点に津波の高さの情報がないことで、その周辺に“津波が全く来ていない”と誤認されてしまう可能性がありました。また、もし、②「津波到達中に障害となった観測点」があれば、その観測点では、津波観測の途中から津波の高さの情報を更新できなくなります。従って、低い津波を観測し始めた直後に障害となった観測点があった場合、従来の津波情報ではその観測点の障害を知らずに情報をご覧になることになってしまい、この観測点周辺には“低い津波しか来ていない”と誤認される可能性もありました。

このため、2025年7月24日からは、津波観測点の稼働状況を、より速やかにお知らせできるよう、障害で観測できなくなっている観測点については、津波情報を発表する段階で「欠測」を明示してお知らせする改善を行っています。この改善により、「欠測」している観測点周辺での津波の状況について、上述のような過小評価をされてしまう可能性がほぼなくなりました。津波情報において「欠測」と発表された時には、その観測点ではデータが入手できていないものの高い津波が襲来している可能性がある、ということを念頭に、発表中の津波警報等に応じて、津波からの適切な避難を継続してください。

○2025年7月30日のカムチャツカ半島東方沖の地震に伴う津波に対する津波情報の例

2025年7月30日08時24分、カムチャツカ半島東方沖の地震（Mw8.8）に伴って津波が発生し、高知県沿岸でもその津波を観測しました（※地震概況参照）。この津波に対する一連の情報では、30日10時56分に発表された情報から、津波到達前からの欠測観測点（図中①）として、「三宅島阿古」が明示されています（下図は気象庁ホームページ上での津波観測に関する情報の表示例で、「三宅島阿古」は白抜きの四角で表示されています）。



図 7月30日のカムチャツカ半島東方沖の地震の際の津波情報例（気象庁ホームページ上）

なお、7月30日に発生したカムチャツカ半島東方沖の地震について、報道発表資料で「三宅島阿古」の「欠測」がお知らせされたのは30日13時となっています。このことから、今回の津波情報の改善により、従前よりも数時間早く「欠測」の情報をお伝えできたこととなります。また、今回の津波では該当する観測点はありませんでしたが、もし津波到達中に障害となった観測点（図中②）があれば、欠測前に観測された津波の高さに応じた色で囲まれた白抜きのバーとして地図上に表示されます（上図の右下にある凡例を参照ください）。

最新の津波情報（気象庁ホームページ）

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#5/38/135.016/&contents=tsunami&elem=info>



定期刊行物 高知県の地震（高知地方気象台）

<https://www.data.jma.go.jp/kochi/kankoubutsu.html>